

陽だまり

平成20年12月26日

NO. 4

生き生きと発言！塩川小学校の児童は素晴らしい！

10月の長野県視覚・放送教育研究大会での3年東組の総合的な学習の時間の授業公開、11月の丸子北中ブロック人権同和教育研修会での1年西組の道徳、3年西組の道徳、5年西組の国語の授業公開、12月の校内研究での5年東組の家庭科の授業研究会では、多くの参観者の先生方がいる中でも、自分の考えの発言や友だちの考えに応じての発言など積極的な発言が多く、生き生きとした姿がたくさん見られました。これも日頃の学習がしっかりと出来ているということと、先生方の教材研究の成果だと思います。



長野県視覚・放送教育研究大会のアンケート用紙から

◎子どもたちが自ら課題を見つけ、追究していく中で有効的にビデオが使われていて良かった。総合学習の内容も子どもたちの身近なことを素材としていたので、興味・関心を持って取り組んでいたのが、とても印象的でした。自分も問題解決型の授業をもっと取り入れていきたいと思いました。

人権同和教育研修会のアンケートから

<低学年>

・先生の静かでしっとりとした雰囲気の中で、子どもたちはたくさん考えて、自分の意見をだしていたと思います。自分たちがおおかみさんや、うさぎさん、きつねさん、たぬきさん、そしてくまさんになった気持ちで、この一時間勉強をしていた子どもたちの素晴らしさに感激しました。授業の中で板書計画、ペープサート、教材の準備、お面等とてもよかったです。

<中学年>

・初めて小学校の人権の授業を見せていただきました。みんなが生き生きと活発に挙手をしている姿がとてもすばらしいと思いました。みんな一生懸命先生からの質問に答えようとがんばっているなど感じました。クラスの雰囲気がとてもよいなと思いました。先生の教材研究もすばしかったです。

<高学年>

・子どもたちが授業に集中し落ち着いて学習する姿がすばしかったです。積極的に挙手・発言する子どもが多く、日頃からの学習の積み重ねを感じました。また、先生がひとりひとりの子どもを大事にされていて、机間巡視の中で必ず声をかけるなど配慮されていて、こうした学習環境の中で子どもたちの人権感覚が身についていくのだと思いました。お互いの意見を聞き合い認めていくという雰囲気が出来ていて人権教育の場で大事にしていきたいことだと改めて思いました。

さて、明日から1月8日までの冬休みとなります。年末のお手伝い、正月の行事などに子どもたちが進んで参加できればと願っています。2学期は交通事故が一件もありませんでした。この間のご家庭でのご指導に感謝いたします。生徒指導係より配布「哇っ子」も是非ご覧ください。

世界的に不安定な景気と言われ厳しい年の瀬ですが、何とか来年は持ち直してくれればと思います。どうぞ皆様良いお年をお迎え下さい。

避難訓練(第6分団も参加)

11月20日に予告無しの休み時間における避難訓練を行いました。理科室が火災になったことを想定して行いました。非常ベルと同時にその場に座って放送の内容を聞き、すばやく待避所に集合できました。体育館では戸惑っていた低学年生をリードする高学年の児童の姿がみられました。避難後は第6分団の方による放水訓練もみることができ、キビキビとした行動もいざというときの「おはしも」につながるよい手本となりました。



放水の様子



第6分団の皆様

どう思う！子ども用の携帯電話

塩川小学校の携帯所持状況 (12月現在)

学年	3年		4年		5年		6年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	4	7	0	4	2	1	1	5	7	17
合計	11		4		3		6		24	

最近携帯電話の学校での所持について話題になっています。本校での所持状況は上の表のとおりです。学校に持ってきている児童はいません。使い方は家族との連絡が主のようですが、知らない人からの電話やメールが届くこともあるようです。家庭の理由で持たせていると思いますが、携帯サイト利用によるイジメや犯罪等につながったり、携帯依存症になるなど社会的な問題になっています。どのように使っているか、どんな危険があるか知らないのは親かもしれません。インターネットも含め、携帯の危険性について、学校でも指導していきますが、持てせるのは親の責任になりますから、家庭でも様々な危険性についての情報を得た方がよいと思います。



平成19年度ポスター
最優秀作品
内堀 智美

わたしのステキな友だち 坂口好香

「どうしよう。りょうちゃんの作品に、ぶつかって、わっちゃった。」

休み時間に、私の親友のももちゃんが、泣きながら走ってきた。すぐに、ろうかに出てみると、たしかにりょうちゃんの作品がわれていた。ももちゃんはとてもしかしそうに「りょうちゃんにわるいことをしちゃった。全部わたしがわるい。」

と言って深くはんせいをしていた。

ももちゃんのつらい気持ちがあわたしにもつたわってきた。ももちゃんは、りょうちゃんに正直にあやまろうとしていた。わたしは、ゆうきを出して伝えようとしていた。わたしは、ももちゃんが、とてもステキだと思った。わたしは、ももちゃんのせなかをポンポンとかるくたたいて

「だいじょうぶだよ」と声をかけた。

ももちゃんががりょうちゃんに本当のことを全部話して

「ごめんね」とあやまった。するとりょうちゃんは、にこにこしながら、「いいよ。気にしないで。」

と言ってくれた。りょうちゃんもかなしかったはずなのに、やさしくゆるせてすごいと思った。りょうちゃんの友だちを思う心はとっても大きいと思った。

ももちゃんもりょうちゃんもがんばっていた。二人とも、おたがいを大事にしていた。わたしの友だちはステキだなあ。(平成十九年度上田市いのち・愛・人権作品集 作文 最優秀作品)

※平成20年度の作品は来年の3月発表です。